

2020年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年8月30日

上場会社名 東和フードサービス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3329 URL <https://www.towafood-net.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長CEO (氏名)岸野 誠人
 問合せ先責任者 (役職名)常務執行役員管理本部部長 (氏名)長谷川 研二 (TEL)03(5843)7666
 四半期報告書提出予定日 2019年9月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期第1四半期の業績 (2019年5月1日～2019年7月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第1四半期	2,832	2.1	121	△4.1	129	△3.8	24	△68.4
2019年4月期第1四半期	2,774	1.1	127	△34.6	134	△32.7	78	△54.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第1四半期	3.08	—
2019年4月期第1四半期	9.75	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年4月期第1四半期	7,024	5,245	74.7
2019年4月期	7,262	5,271	72.6

(参考) 自己資本 2020年4月期第1四半期 5,245百万円 2019年4月期 5,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期	—	6.00	—	6.00	12.00
2020年4月期	—	—	—	—	—
2020年4月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年4月期の業績予想 (2019年5月1日～2020年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,587	1.4	216	4.0	229	4.0	123	8.3	15.24
通期	11,500	1.7	572	17.2	600	10.6	359	28.6	44.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年4月期1Q	8,186,400株	2019年4月期	8,186,400株
② 期末自己株式数	2020年4月期1Q	116,658株	2019年4月期	116,658株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年4月期1Q	8,069,742株	2019年4月期1Q	8,069,742株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期(2019年5月1日～2019年7月31日)における外食業界は、令和への改元、大型連休後の反動による落ち込みが見られたものの、全体としては堅調に推移しております。その一方で消費税率の引き上げに対する消費者の節約志向が続いている状況や、人手不足に伴う人件費高騰及び原材料費の高騰等により、厳しい経営環境が続くことも懸念されております。

当社における第1四半期の業績は、売上高28億32百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は1億21百万円(同4.1%減)、経常利益は1億29百万円(同3.8%減)、当期純利益につきましては、本年7月30日開催の第20期定時株主総会にて承認頂きました役員退職慰労金等を特別損失として計上、また、減資による税率の変更を踏まえた結果、24百万円(同68.4%減)となりました。

売上につきましては、全社売上が12か月連続、既存店売上が9か月連続で対前年100%超えと堅調に推移しており、店舗のキャストが開発した社内コンテスト優秀作品の展開がお客様からの注目を集めると同時に、店舗での売りきる体制(サジェスト)強化により、客単価増に繋がっております。

また、全社売上が押し上げた要因の一つには、インターネット販売において、母の日や父の日などのハレの日需要を取り込む為の「椿屋アイスコーヒーギフト」の販売施策が好調に推移したことに加え、外販ソースの販売も順調だったことがあげられます。

利益面におきましては、主に採用と定着にかかる費用が上昇しており、前期対比マイナスとなっておりますが、ワークライフバランスの充実を推進するにあたり、業務の標準化と効率化、公休や有給休暇の取得、時間外労働の抑制を継続することにより、人件費の適正化を進めてまいります。

新規創店におきましては、第1四半期の出店はありませんでしたが、改装リニューアルオープンを行ったダッキータック柏高島屋ステーションモール店が前期比120%、池袋ばすたかんサンシャインシティアルパ店が前期比130%の売上で推移しております。また4月、千葉県松戸市にオープンした新業態「Cheese Egg Garden」の2店舗目の創店に向けて準備を進めております。

第2四半期も半ばに差し掛かっておりますが、日本スペシャルティコーヒー協会主催のサイフォニストチャンピオンシップ決勝大会、各地域で行われているショッピングセンター主催の接客ロールプレイングコンテストの関東大会等へ進出が決まっている従業員も複数出ております。商品のトップクオリティの追求とサービスの高質化により「あったら楽しい・手の届く贅沢」の提供を日々具現化するために、従業員一同取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて1億86百万円減少し、18億95百万円となりました。これは、現金及び預金が40百万円減少、SC預け金が36百万円減少、前払費用が29百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて51百万円減少し、51億28百万円となりました。これは、敷金が30百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて2億37百万円減少し、70億24百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて2億11百万円減少し、12億37百万円となりました。これは、未払賞与が1億15百万円減少、未払法人税等が81百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて0百万円減少し、5億40百万円となりました。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて2億12百万円減少し、17億78百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて25百万円減少し、52億45百万円となりました。これは、当期純利益の計上24百万円があった一方で、剰余金の配当48百万円があったことにより、利益剰余金が23百万円減少したことなどによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月31日に公表いたしました、2020年4月期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,300,307	1,259,577
売掛金	142,924	132,284
SC預け金	283,138	246,374
商品及び製品	40,268	38,875
原材料及び貯蔵品	92,541	87,021
前払費用	140,617	111,589
その他	83,198	20,212
貸倒引当金	△548	△421
流動資産合計	2,082,447	1,895,513
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,339,666	1,342,724
工具、器具及び備品（純額）	463,653	461,107
土地	939,000	939,000
リース資産（純額）	56,536	44,798
その他（純額）	134,180	131,894
有形固定資産合計	2,933,036	2,919,525
無形固定資産	29,630	27,765
投資その他の資産		
長期前払費用	20,112	17,767
繰延税金資産	238,371	238,435
差入保証金	378,834	378,234
敷金	1,538,127	1,507,744
その他	41,673	39,261
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	2,217,117	2,181,443
固定資産合計	5,179,785	5,128,733
資産合計	7,262,232	7,024,247

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	231,128	220,171
1年内返済予定の長期借入金	150,000	150,000
リース債務	45,140	37,053
未払金	545,829	553,701
未払賞与	115,812	-
未払費用	110,254	75,103
未払法人税等	97,557	16,374
未払消費税等	92,867	87,842
預り金	28,264	20,526
賞与引当金	-	61,382
資産除去債務	30,561	13,244
その他	2,045	2,195
流動負債合計	1,449,460	1,237,597
固定負債		
リース債務	18,603	12,827
退職給付引当金	337,907	343,393
資産除去債務	163,660	163,696
その他	20,984	20,984
固定負債合計	541,155	540,902
負債合計	1,990,616	1,778,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	673,341	673,341
資本剰余金	683,009	683,009
利益剰余金	4,002,260	3,978,732
自己株式	△100,429	△100,429
株主資本合計	5,258,181	5,234,652
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,435	11,095
評価・換算差額等合計	13,435	11,095
純資産合計	5,271,616	5,245,748
負債純資産合計	7,262,232	7,024,247

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年5月1日 至2018年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自2019年5月1日 至2019年7月31日)
売上高	2,774,497	2,832,386
売上原価	737,706	758,920
売上総利益	2,036,790	2,073,466
販売費及び一般管理費	1,909,670	1,951,569
営業利益	127,120	121,897
営業外収益		
受取利息	27	16
受取配当金	192	416
受取家賃	6,400	6,400
協賛金収入	-	2,561
その他	3,779	750
営業外収益合計	10,399	10,145
営業外費用		
支払利息	892	678
不動産賃貸原価	1,310	1,348
その他	678	503
営業外費用合計	2,880	2,530
経常利益	134,639	129,512
特別損失		
固定資産除却損	5,508	5,711
減損損失	8,250	-
役員退職慰労金	-	82,500
特別損失合計	13,758	88,211
税引前四半期純利益	120,880	41,300
法人税等	42,200	16,410
四半期純利益	78,680	24,889

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

資本金の額の減少

2019年7月30日開催の第20期定時株主総会において、資本金の額の減少について承認可決され、2019年9月1日に効力発生の予定です。

1) 資本金の額の減少の目的

今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的として、資本金の額を減少し、その他資本剰余金へ振り替えます。

2) 減少する資本金の額

資本金の額673,341千円を573,341千円減少して、100,000千円とします。

3) 資本金の額の減少の方法

会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額の減少を上記のとおり行った上で、その全額をその他資本剰余金に振り替えます。

4) 日程

①取締役会決議日	2019年5月31日
②株主総会決議日	2019年7月30日
③債権者異議申述公告日	2019年7月31日
④債権者異議申述最終期日	2019年8月31日 (予定)
⑤効力発生日	2019年9月1日 (予定)